

湖東信用金庫

[テーマ] 人と人をつなぐ
～おもんばか慮る心を～

[講師] 勝城 弘志 氏

[開催日時] 平成 28 年 3 月 10 日 (木)
18:00～19:10

[会場] 湖東信用金庫本店

[参加者] 20 名



講話の内容

○おたまじゃくしは蛙の子

- ・人は環境によっていろいろ変化することがある。つまり、人は人によってこそ人になれる。

○言語環境の力について

- ・人の思いを理解するためには語彙が豊富であることが必要である。
- ・言語環境を整えていくことが、人が人として育つためには大事である。
- ・豊かな言葉、温かい言葉、やさしい言葉など、人間として大切な言葉を多く投げかけることで子どもの心が育つ。

○課題となる言葉がけ

- ・子どもは親の期待に応えようとしており、親の「がんばれ」という言葉が圧迫感となることがある。
- ・「がんばれよ」という言葉を本来の「がんばれよ」にするために、子どもたちの気持ちを受け止め、気持ちに寄り添って声をかけることが大事である。

○「慮る心」について

- ・あなたのことを大切に考えているという気持ちを持つことが、子育てにおいても企業においても大切である。
- ・「慮る心」を大切にすることで確かな信頼関係ができ、あの会社、この企業なら任せられるといった関係ができる。

参加者の感想

- 親が子どもに対して普段何気なく言っている言葉を子どもがどう捉えるか、改めて考えるよい機会となりました。
- 今回の研修では家庭教育学習講座というタイトルですが、内容は企業内における上司と部下の関係に相通ずることが多くあり、大変参考になりよかったです。
- 自分自身、家庭でも地域でも職場でも、人を思いやる心を持っているだろうかと反省しました。今日の講座の内容を今後に生かしたいと思います。